



Title	若手研究者フォーラム要旨集 第11回 目次
Author(s)	
Citation	若手研究者フォーラム要旨集. 2025, 11
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/102709
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

第11回 若手研究者フォーラム

2025年9月29日(月)

会場：大阪大学豊中キャンパス A会場：文法経本館2階 大会議室

B会場：文法経本館 中庭会議室

スケジュール・目次

10:00-10:05 開会の辞

A会場:10:05-12:10(発表15分+質疑応答10分)

- 研究発表①「近世琉球の外交と仏教僧 ― 古琉球からの変化に着目して ―」
(源 清香・現代日本学・博士後期課程1年)5
- 研究発表②「『織る』虫・『怨む』虫 ― 平安朝漢詩における「蚕」語群の詠法 ―」
(小山 愛桂・日本文学・日本語史学・博士前期課程1年)9
- 研究発表③『古今和歌集』と『新古今和歌集』の嗅覚表現の表現構造
― 四季部における視覚との対応を中心として ―
(SEO YE-EUN・日本文学・日本語史学・博士前期課程1年)..... 13
- 研究発表④「〈反米〉と〈親中〉の間 ― 1950年代の辻政信を事例として ―」
(盧 思雅・現代日本学・博士前期課程2年) 17
- 研究発表⑤「五代十国における呉越国正統観の考察 ― 五代王朝との相違を中心に ―」
(杜 智勇・東洋史学・博士前期課程2年) 21

B会場:10:05-12:10(発表15分+質疑応答10分)

- 研究発表①「『丁固夢松』故事小考 ― 十八歳の意味転換を中心に ―」
(馬 超・演劇学・博士後期課程2年) 25
- 研究発表②「他者がもたらす公共ホールの揺らぎ
― 『障害と向き合う美術館』を起点に考える、舞台芸術の取り組み ―」
(福島 尚子・アート・メディア論・博士前期課程2年) 29
- 研究発表③「大阪市立東洋陶磁美術館所蔵《青花楼閣山水文角瓶》について」
(宮崎 慎一郎・日本東洋美術史・博士前期課程2年) 33
- 研究発表④「『政治的リベラリズム』における「理性的」という理念の再検討」
(楊 泓・哲学哲学史・博士後期課程3年) 37
- 研究発表⑤「日本の戦後大衆音楽史における「フュージョン」の再検討
― 音楽雑誌『ADLIB』の言説空間に注目して ―」
(岸本 寿怜・音楽学・博士前期課程2年) 41

12:10-13:20 休憩

A会場:13:20-15:00 (発表15分+質疑応答10分)

- 研究発表⑥「金嬉老事件と戦後日本の知識人 ― 福田恒存の立場を手がかりとして ―」
(崔 珉誠・現代日本学・博士前期課程1年) 45
- 研究発表⑦「芥川龍之介「京都日記」論 ― 同時代の京都に関する言説へ接続して ―」
(森本 悠陽・日本文学・日本語史学・博士前期課程2年) 49
- 研究発表⑧「異文化体験からうまれた「上海游记」」
(YAN WEICHEN・テキスト環境論・博士後期課程1年)..... 53
- 研究発表⑨「『忠度集』季節詠にみえる不遇意識 ― 「三月尽」題を中心に ―」
(井上 京音・日本文学・日本語史学・博士前期課程1年) 57

B会場:13:20-15:00 (発表15分+質疑応答10分)

- 研究発表⑥「パーマカルチャーにおけるデザイナーと地域住民の協働」
(橋本 かれん・美学・博士前期課程2年)..... 61
- 研究発表⑦「「食えること」をデザインする意義とはなにか
― マライエ・フォーゲルザングの実践を中心に ―」
(瀧脇 嗣苑・美学・博士前期課程1年)..... 65
- 研究発表⑧「アラン・レネのアート・ドキュメンタリー映画研究
― 『ゲルニカ』(1950)におけるゲルニカの表象 ―」
(水口 粹智・アート・メディア論・博士前期課程2年) 69
- 研究発表⑨「「不安」とは何かを問うために ― フロイトにおける二つの「不安」理論 ―」
(主藤 しゅう・臨床哲学・博士前期課程1年) 73

15:00-15:30 休憩・審査

15:30-15:40 授賞式・閉会の辞 (於:大会議室)